

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は、平成9年9月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。
行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111(内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		県内市町村等関係	
磁気テープの都道府県に提供される統計データ	総務庁	土地区画整理事業箇所図, 茨城県	都市整備課
労働力調査特別調査報告 平成9年2月	〃	教育便覧, 茨城 平成9年度	教育庁企画室
我が国の人口集中地区	〃	交通白書 平成8年	県警察本部
防衛白書 平成9年版	防衛庁	人事委員会年報 平成8年度	人事委員会
過疎対策の現況 平成8年度版	国土庁	県地方労働委員会年報 平成8年版	地方労働委員会
国民生活基礎調査 平成7年 第2巻, 第4巻	厚生省	運営要覧	勸茨城県教育財団
人口動態統計 平成7年 上巻	〃	都道府県等関係	
国民衛生の動向 1997年	厚生統計協会	統計要覧 平成8年度版	下館市
茨城の作物統計 平成8年	関東農政局	統計 ひたちおた 平成9年版	常陸太田市
エネルギー生産・需給統計年報	通商産業省	桜川村第三次総合計画	桜川村
機械統計年報 平成8年	〃	都道府県等関係	
産業細分類別統計表 平成7年 工業調査	〃	みやぎの雇用と賃金 平成8年	宮城県
気象年鑑 1997年版	気象庁	栃木県の賃金, 労働時間及び雇用の働き	栃木県
毎月勤労統計調査年報 平成8年	労働省	群馬県鉱工業指数 平成8年	群馬県
建設白書 平成9年版	建設省	さいたまの県民経済計算 1994	埼玉県
建築統計年報 平成9年度版	〃	千葉県鉱工業指数年報 平成8年	千葉県
全国都道府県市区町村別面積調 平成8年	国土地理院	資料もくろく 1997 平成9年7月31日現在	東京都
住民基本台帳人口要覧 平成9年版	自治省	県民経済計算 平成6年度	神奈川県
茨城県関係		長野県鉱工業指数年報 平成8年	長野県
茨城県の人口 平成7年国勢調査 第2次	統計課	静岡県鉱工業指数年報 平成8年	静岡県
茨城県の人口(町丁字別) 平成9年4月1日現在	〃	あいちの鉱工業 平成8年	愛知県
茨城県の賃金・労働時間・雇用の働き 平成8年	〃	滋賀県鉱工業生産指数 平成8年	滋賀県
国際実務ハンドブック 1997年3月	国際交流課	京都府民経済計算 平成6年度	京都府
霞ヶ浦環境情報サービスセンター図書文献目録 平成8年3月	霞ヶ浦対策課	奈良県鉱工業生産指数 平成8年	奈良県
女性施策の概要 平成9年度	女性青少年課	鳥取県県民経済計算報告書・平成6年度	鳥取県
国民年金事業年報 平成8年度	国民年金課	山口県鉱工業指数 平成8年	山口県
学院要覧 平成9年度	中央看護専門学校	福岡県鉱工業指数 平成8年	福岡県
学生便覧 平成9年度	〃	「熊本情報プラザ」展示目録 平成9年4月	熊本県
業務概要 平成8年度	土浦保健所	大分県鉱工業指数年報 平成8年	大分県
事業報告 平成8年度	肥飼料検査所	鹿児島県の給与と労働時間 平成8年	鹿児島県
畜産試験場年報, 茨城県 平成8年度	畜産試験場	会社・公社・団体等関係	
茨城県全域でのメッシュ中央海拔高とメッシュ気候値	林業試験場	海面漁業水揚高集計表, 茨城県 平成8年	水産業団体指導協会
木材需給の現況 平成7年	林政課		
林業試験研究10年(昭和60年~平成6年)の推移	林業技術センター		
水産業協同組合要覧 平成7年度	漁政課		
漁況海況予報事業結果報告書 平成6年度, 平成7年度	水産試験場		
いばらきの都市整備	都市整備課		

統計調査員との出会い

牛堀町企画振興課 主事 実川 治 子

「がんばってるね。」「いつもいつも、たいへんだね」これは、統計を担当して4年目の私が調査員さんから今でこそ言われた言葉です。

私は、ちょうど3年前の平成6年に企画振興課へ異動になり、国勢調査準備調査から統計を担当しました。統計調査の中でも一番大規模に行われる調査を目の前にして、若干26歳の私が、「自分の親、祖父ほど年の離れた調査員さんに説明や指導などできるのであろうか。」今でも、あの時の不安やとまどいが忘れられません。逆に考えますと、かえって私よりも、そういう私を迎えて調査員さんの方が不安だったのではないのでしょうか。

そして迎えた平成7年度、国勢調査に農業センサスと、とにかく忙しく、ひと月に4～5回も水戸に行く日々が続きました。けれど、この多忙な1年がなかったら、私は調査員さんとは今ほどのつながりはもてなかったと思います。思い出せば、国勢調査は登録調査員だけでは間にあわず、臨時の調査員を見つけることから始まりました。話もしたこともない方に電話をかけ、会いに行きお願いをして歩きました。

しかし、心配するほどもなく皆さん快く引き受けてくださり、スムーズに定数を満たすことができました。後の報告会で他の市町村では指導員・調査員を探すのに苦勞をされたと聞き、自分は恵まれていると感じたことを覚えています。調査が始まってからも調査員さん全員が協力して下さり、少々の疑問点は調査員同志で確認しあってくださ

ったようです。そうして長かった調査も無事、調査票提出にこぎつけたのでした。

もちろん様々な問題や苦勞もありましたが、何よりも自分の心の中は、1つの調査を調査員さんひとりひとりと一緒に作りあげたという充実感で満たされていました。そして今では、牛堀町の調査員さんと自分に与えられた仕事を誇りだと思っています。

現在も就業構造基本調査が実施され、平成10年2月には農業基本調査が控えています。調査が終了すれば、その結果は1冊の資料となり私たちの手元に届きます。この1冊の本となるまでにどれだけの人の苦勞をとおってきたか、それを感じてくれる人は何人いるでしょう。まさに、ピラミッド方式に調査を進める統計は、町村の・県の・国の調査員さんの地道な成果のたまものではないでしょうか。

これから先、何年統計を担当するかわかりませんが、この「出会い」を大切に、「異動しても、また戻っておいで」と調査員さんから言われるよう、統計調査という仕事に従事していきたいと思っています。

経 済 動 向

国内の動き

●家庭ごみ、東京ドーム136杯分

94年度1年間に家庭などから出た一般廃棄物の総量は5,054万トンで、東京ドーム136杯分にのぼったことが10日、厚生省の調べでわかった。93年度に比べ0.5%増と、ほぼ横ばい。また、国民1人が1日に出す一般廃棄物の量は平均1,106グラムで、そのうち資源化やたい肥化など中間処理される割合は12.0%で、0.7ポイント上昇、リサイクル率は9.1%で0.9ポイント伸びた。一方、埋め立てに回されたごみの量は前年度より約90万トン減ったため、一般廃棄物の最終処分場の残余年数は推計8.7年と、前年度(8.1年)よりわずかながら”寿命”が延びた。

建設廃材や汚泥など産業廃棄物の総量は約4億500万トンで、ここ数年横ばい傾向。中間処理(42%)、リサイクル(38%)もほぼ前年度と同様で、産廃処分場の残余年数は全国で2.6年、首都圏で0.9年と厳しい状況が続いている。

(9月11日付 日経)

●はがき・封書とも黒字

郵政省は22日、96年度の郵便事業について、封書やはがきなど種類別の収支を公表した。収入から費用を差し引いた額(黒字額)は、封書が1,154億円、はがきが152億円。郵便番号の7けた化に備えた設備投資で黒字幅は縮小したもの、収入が費用を上回る黒字傾向は変わらなかった。

封書とはがき以外では、書留など特殊取扱郵便、国際郵

便が前年度に続き黒字だった。一方、小包郵便は96年8月から始めた保冷サービスの設備投資がかさんで赤字に転じた。第3、第4種郵便物はそれぞれ前年度並みの赤字となった。

一部の赤字分を封書、はがきなどで穴埋めし、郵便物全体では963億円の黒字を維持した。

(9月23日付 日経)

●企業の資金調達 94%内部でまかなう

日本企業の資金調達に占める内部資金の割合が急増している。大蔵省の法人企業統計によると96年度は過去最高の94.0%に達した。設備投資などの資金需要が低迷しているため、必要資金を内部からまかない、外部からの借入れを減らす財務のリストラを進めている姿が浮き彫りになった。

資金調達額はバブル崩壊で急減し、93-96年度はほぼ横ばい。この間、外部資金の割合は22.7%から6.0%に急低下した。企業はバブル期の社債や長期借入金の返済に動いており、超低金利状態にもかかわらず、新規の短期借入金も減少傾向にある。

依存度が高まっている内部資金のなかで、留保利益は経常利益の増加に伴い緩やかながら増加傾向にある。バブル期に設備投資が急拡大したことを反映し、減価償却の割合も増えている。

(9月30日付 日経)

県内の動き

●農業粗生産額0.1%減

関東農政局茨城統計情報事務所が24日発表した茨城県の96年農業粗生産額(概算)は4,695億円で、前年比0.1%減少した。畜産部門が上昇した半面、主力の野菜やコメの価格が低下したため、ほぼ前年並みとなった。

コメの粗生産額は1.6%減少。減反強化などで水稻の作付面積は減少したものの、作柄が良く価格が低下した。園芸部門では野菜が2.6%減少。果実も台風の影響などで白菜や日本ナシの生産量が低下したため8.3%減少した。イモ類は12.4%の増加。花きは球根、鉢物、花き苗類などの生産増で、6.2%の増加となった。畜産部門は鶏卵の価格が上昇したため、1.7%増となった。

都道府県別では北海道、千葉県に次ぐ全国3位になった模様。茨城県は今年5月に「新園芸振興プラン」を発表しており、野菜や果樹、イモ類の栽培を強化し、2000年に全国2位奪回を目指す方針を明らかにしている。

(9月25日付 日経)

●県内酒類消費量 96年度は1.6%減

水戸税務署が29日発表した茨城県内の96年度の酒類消費量は18万6,800キロリットルで前年比1.6%減少した。全体の消費量は茨城県庁本館をマスに見立てて換算すると、3.0杯分に相当。成人1人当たりでは83.1リットル(1.8リットルビンで46.2本分)を飲み干した計算になる。

酒類別では発泡酒を含むその他酒類が前年度比17.1%増。若者や女性に人気の果実酒類も16.7%と高い伸びを示した。半面、ウイスキー類は13.1%減と2けたの減少。清酒は5.8%減。消費量全体の約7割を占めるビールも発泡酒人気の影響もあって、2.5%減少した。

(9月30日付 日経)

'98県民手帳

平成
10年版

かくれたベストセラー県民必携の生活手帳

申 込 受 付 中



●差込式住所録付き

※写真は97年度版のものです。

■ポケット版
(大きさ8cm×12.5cm鉛筆付) (消費税込)
ねだん(1冊) **350**円

■大型版
(大きさ9cm×14.5cm) (消費税込)
ねだん(1冊) **470**円

編集・発行／茨城県統計協会

編 集 後 記

11月8、9日の2日間、八千代町公園において統計データフェアが開催されました。グラフコンクールの優秀作品や私達に身近な統計についてのパネル展示のほか、某TV番組でおなじみのポールのあてゲームなどを行ない、(私の想像以上に)たくさんの方で賑わいました。(DS)

統計いばらき 1997.11 No.523

平成9年11月発行
編集兼発行/茨城県企画部統計課
茨城県統計協会
〒310 水戸市三の丸1丁目5番38号
電話 029-221-8111(内線)2651,2652
029-221-5505(直通)
FAX 029-228-0961
印刷所/富士オフセット印刷株式会社